



2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 第一カッター興業株式会社
 コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正光

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理課長 (氏名) 木暮 恵介

TEL 0467-85-3939

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	3,956	11.5	419	8.9	476	17.2	283	0.7
2019年6月期第1四半期	3,546	5.8	384	2.1	407	3.4	281	16.8

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 300百万円 (0.4%) 2019年6月期第1四半期 301百万円 (17.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	49.80	
2019年6月期第1四半期	49.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第1四半期	14,158	11,141	75.7	1,882.47
2019年6月期	13,304	10,956	79.3	1,853.35

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 10,714百万円 2019年6月期 10,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		20.00	20.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		0.00		22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,157	9.7	1,024	6.8	1,097	8.7	704	5.4	123.79
通期	15,700	5.6	1,730	1.7	1,856	0.7	1,080	13.7	189.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]7ページ「2サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期1Q	6,000,000 株	2019年6月期	6,000,000 株
2020年6月期1Q	308,332 株	2019年6月期	308,332 株
2020年6月期1Q	5,691,668 株	2019年6月期1Q	5,691,668 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米中間の通商問題や消費税増税による景気の落ち込みが懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

国内建設市場におきましては、公共投資の下支えに加えて、堅調な企業収益を背景とした設備維持・更新のための民間投資の増加により、建設需要は底堅く推移しました。しかしながら、今後も引き続き、逼迫した労働市場を原因とした人件費の上昇や建設資材をはじめとする材料費の上昇による建設コストの増大には十分留意していく必要があります。

このような状況下で当社グループは、切断・穿孔工事事業、ビルメンテナンス事業、リユース・リサイクル事業の全ての事業において積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、特に切断・穿孔工事事業において完成工事高が増加したため、当四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は3,956百万円（前年同期比11.5%増）となりました。また、売上高の増加に伴い、利益面に関しても営業利益419百万円（前年同期比8.9%増）、経常利益476百万円（前年同期比17.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益283百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、年間を通じて売上高は第2四半期（10月～12月）・第3四半期（1月～3月）に集中する傾向にあり、それに比して第1四半期（7月～9月）・第4四半期（4月～6月）の売上高は減少する傾向にあります。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま

す。セグメント別の状況は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

(切断・穿孔工事事業)

主に高速道路・橋梁改修工事の受注が増加したため、完成工事高は3,425百万円（前年同期比20.1%増）となりました。また、完成工事高の増加に伴い、セグメント利益は607百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に高層マンション等新規案件の開拓に努めてまいりましたが、完成工事高は83百万円（前年同期比1.6%減）となりました。また、完成工事高の減少及び施工体制の見直しによる外注費の増加により、セグメント利益は3百万円（前年同期比67.8%減）となりました。

(リユース・リサイクル事業)

リユース・リサイクル事業につきましては、引き続き中古スマートフォン等の販売に係る新規の顧客開拓に努めてまいりましたが、大口顧客の獲得が前年の第1四半期と比較して減少したことから、商品売上高は447百万円（前年同期比26.6%減）となりました。一方、利益率の高い顧客の確保に努めた結果、セグメント利益は16百万円（前年同期比237.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、株式会社アシレの連結子会社化に伴い、のれん及び有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ853百万円増加し、14,158百万円となりました。

負債につきましては、工事未払金及び賞与引当金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ668百万円増加し、3,017百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ185百万円増加し、11,141百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は75.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の通期の業績予想につきましては、2019年8月13日に発表いたしました「2019年6月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,698,691	5,323,628
受取手形・完成工事未収入金	2,293,682	2,559,266
売掛金	187,227	130,136
未成工事支出金	344,771	324,518
商品	79,909	83,116
材料貯蔵品	149,938	157,258
その他	167,779	147,341
貸倒引当金	△8,016	△9,367
流動資産合計	8,913,984	8,715,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,256,026	1,338,650
減価償却累計額	△337,050	△365,923
建物及び構築物(純額)	918,976	972,727
機械装置及び運搬具	3,189,269	3,651,749
減価償却累計額	△2,548,038	△2,839,795
機械装置及び運搬具(純額)	641,230	811,953
工具、器具及び備品	91,072	95,934
減価償却累計額	△67,609	△70,116
工具、器具及び備品(純額)	23,462	25,818
土地	1,675,004	1,928,017
リース資産	45,479	182,489
減価償却累計額	△20,180	△106,016
リース資産(純額)	25,299	76,472
建設仮勘定	42,752	23,000
有形固定資産合計	3,326,725	3,837,989
無形固定資産		
のれん	—	391,863
その他	104,035	121,573
無形固定資産合計	104,035	513,437
投資その他の資産		
投資有価証券	504,479	510,079
繰延税金資産	208,386	280,741
その他	249,967	329,974
貸倒引当金	△2,580	△29,586
投資その他の資産合計	960,252	1,091,208
固定資産合計	4,391,013	5,442,634
資産合計	13,304,998	14,158,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	529,393	749,326
買掛金	189,518	99,820
1年内返済予定の長期借入金	1,000	34,419
リース債務	6,907	29,876
未払法人税等	240,912	215,553
賞与引当金	52,066	224,053
その他	787,326	735,067
流動負債合計	1,807,124	2,088,116
固定負債		
長期借入金	—	32,285
リース債務	19,195	47,331
役員退職慰労引当金	185,609	357,949
退職給付に係る負債	334,937	340,939
その他	1,812	150,567
固定負債合計	541,555	929,074
負債合計	2,348,679	3,017,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	462,044	462,044
利益剰余金	9,765,869	9,934,533
自己株式	△122,364	△122,364
株主資本合計	10,575,848	10,744,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,375	△10,983
退職給付に係る調整累計額	△19,815	△19,152
その他の包括利益累計額合計	△27,190	△30,135
非支配株主持分	407,660	426,968
純資産合計	10,956,318	11,141,345
負債純資産合計	13,304,998	14,158,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高		
完成工事高	2,937,532	3,509,043
商品売上高	609,424	447,379
売上高合計	3,546,957	3,956,423
売上原価		
完成工事原価	1,934,434	2,381,202
商品売上原価	535,587	326,108
売上原価合計	2,470,022	2,707,310
売上総利益		
完成工事総利益	1,003,098	1,127,841
商品売上総利益	73,836	121,270
売上総利益合計	1,076,934	1,249,112
販売費及び一般管理費		
営業利益	692,123	829,965
営業外収益		
受取利息	22	16
受取配当金	6,001	43,329
受取保険金	2,655	4,403
持分法による投資利益	9,129	6,437
雑収入	7,216	5,436
営業外収益合計	25,025	59,623
営業外費用		
支払利息	296	155
売上債権売却損	36	—
支払補償費	2,179	1,184
雑損失	321	537
営業外費用合計	2,834	1,877
経常利益	407,002	476,893
特別利益		
固定資産売却益	83	378
保険解約返戻金	18,168	—
特別利益合計	18,252	378
特別損失		
固定資産売却損	8	334
固定資産除却損	3,350	0
特別損失合計	3,358	334
税金等調整前四半期純利益	421,896	476,937
法人税等合計	126,878	173,584
四半期純利益	295,017	303,353
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,534	19,895
親会社株主に帰属する四半期純利益	281,482	283,457

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	295,017	303,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,047	△3,607
退職給付に係る調整額	690	662
その他の包括利益合計	6,737	△2,945
四半期包括利益	301,754	300,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288,220	280,512
非支配株主に係る四半期包括利益	13,534	19,895

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。